

事業所名

ハピスポ泉佐野

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

22 日

法人（事業所）理念		・子ども達が安心して過ごせる場所 ・「できた！」という成功体験を重ねる支援 ・自分自身の存在が大切にされる経験										
支援方針		安心して過ごせる場所を提供し、その中で子ども達一人ひとりがやりたいことを見つけて取り組めるように支援を行います。また日々の生活の中で成功体験をスモールステップで継続的に重ねることで「できた！」という自身や意欲につながられるような関わり方を大切にします。障害の有無では無く、人と人の中で問題行動と言われてしまう不適切な行動の裏には学習不足や未学習、誤学習であることを理解して怒ったり、叱ったりしない「正解を伝える」「出来る方法を一緒に考える」支援を行います。										
営業時間		平日 土日・祝	10 9	時 30	分 00	から 18 18	時 30	分 00	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	生活の流れの中に、手洗い・うがい・消毒・検温を取り入れることで、無理無く衛生管理が身につくように支援しています。また、保護者様からの聞き取りを元に排泄への流れを作るためのサポートとして定期的にトイレへの誘導を行っています。健康管理の一環として、「なんで汗をかいたら着替えないといけないか」「手洗い・うがいをする意味がわからない」ことへの疑問をSSTのプログラムを通して知識として伝える取り組みも行っていきます。										
	運動・感覚	一人で取り組める遊びのプログラムのなかで体操やエクササイズで体を動かしたり、土曜日や祝日に行く特別プログラムの中で体育館を借りてドッジボールや、シッポ取りのようにチームを組んで遊んだり思いっきり走り回れる機会を作り、集団での取り組みも行っていきます。										
	認知・行動	活動室のホワイトボードに一日の流れを示し、登所から簡単な見通しをもって生活ができるような環境を作っています。また週に2回SSTを取り入れており、学校や放デイだけにとどまらず、社会生活を行う上で必要な知識や行動を身につけられるような支援を行っています。										
	言語 コミュニケーション	日常生活の中に多分に普及してきた電子デバイス（スマホ・タブレット・PC等）を自分で使えるようになるために活動室内に複数ローマ字表を掲示して子ども達自身が見ながら使える環境を整えたり、不適切といわれる言動の裏にある児童の思いに寄り添い、正しい表現の仕方や関わり方を知らせられるように支援しています。										
	人間関係 社会性	日々の生活の中で、集団生活の中で求められる対人スキルを獲得できるように支援をしています。また特別プログラムの中で外出や買い物にでかける機会を設け、事業所スタッフ以外の人と関わる機会を作り、社会性を育む一環として取り組んでいます。										
家族支援		・送迎時に活動の様子を伝えたり、特別プログラムで活動の様子を写真にまとめて配布します。 ・保護者様の要望で面談や相談援助を個別で行います。				移行支援		・併用利用先や学校との情報共有を行います。 ・進路先や移行先への情報提供を行います。 ・作業所にお仕事体験に行かせてもらい、進路決定の選択肢を増やせるような支援を行います。				
地域支援・地域連携		・学校や他事業所等とも関わりを持ち、情報の共有を行います。 ・地域にある商業施設等の地域資源を活用しています。				職員の質の向上		・グループ内でのスタッフ研修 ・毎朝のミーティングと支援終了後の振り返りを行い、スタッフ間で支援に対し意識を統一して向かえるように心がけています。				
主な行事等		・節分・縁日遊び・クリスマス会・初詣・卒業クッキング・1年間の思い出スライド鑑賞										